

日本新薬 (コード 4516)

◆通期業績推移(連結) (25.3 予は会社側発表値)

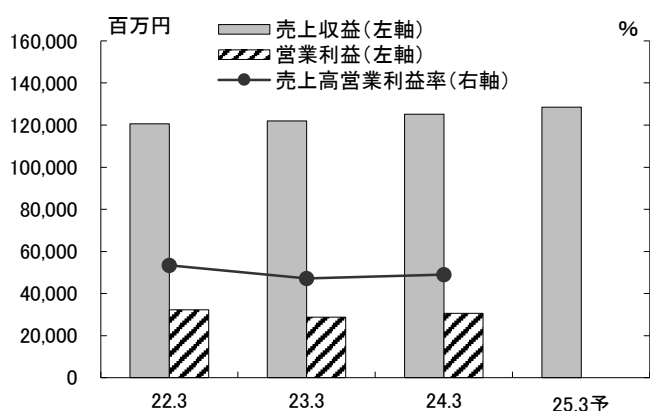
決算期	売上収益	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
23.3	144,175	30,049	338.7	114.0	26,170	▲17,631	▲9,605	60,047
24.3	148,255	33,295	383.8	124.0	16,289	▲9,921	▲9,719	58,094
25.3予	150,000	31,000	363.8	124.0	—	—	—	—

◆各決算期の第2四半期業績推移(連結) (25.3 予は会社側発表値)

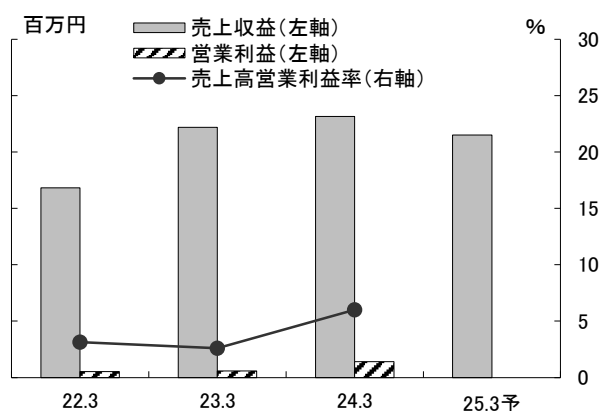
決算期	売上収益	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
23.3	71,136	19,161	226.0	57.0	12,817	▲5,882	▲4,911	63,449
24.3	73,314	20,878	240.2	62.0	7,938	▲1,693	▲4,685	62,855
25.3予	73,300	12,500	147.0	62.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)

医薬品事業の業績推移(25.3の営業利益予想は無し)



機能食品事業の業績推移(25.3の営業利益予想は無し)



**24年3月期の業績概況**…24年3月期の業績は、医薬品事業では、薬価改定や後発品の影響があったものの、「ビルテプソ」(デュシエンヌ型筋ジストロフィー治療剤)や「ウプトラビ」(肺動脈性肺高血圧症治療剤・慢性血栓塞栓性肺高血圧症治療剤)が好調に推移したほか、「ウプトラビ」の海外売上に伴うロイヤリティ収入が伸長。機能食品事業では、サプリメント、プロテイン製剤などの売上が増加。売上収益は前年同期に比べて約3%、営業利益は約11%それぞれ増加した。1株当たりの年間配当金は124円(23年3月期実績比10円増)となっている。

当期の売上収益は1,482億5,500万円(23年3月期比2.8%増)、営業利益は332億9,500万円(同10.8%増)、税引前利益は336億1,600万円(同10.3%増)、親会社の所有者に帰属する当期利益は258億5,100万円(同13.3%増)となった。

事業別の売上収益は、医薬品事業が1,251億500万円(同2.6%増)、機能食品事業が231億5,000万円(同4.3%増)に。医薬品事業での内訳は、医薬品761億4,100万円(同6.9%減)、工業所有権等収益403億400万円(同31.2%増)、共同販促収入86億5,800万円(同9.0%減)に。機能食品事業での内訳は、プロテイン製剤156億円(同1.4%増)、品質安定保存剤31億500万円(同6.9%増)、サプリメント19億500万円(同33.4%増)、健康食品素材12億4,800万円(同11.6%増)などとなった。また、事業別のセグメント利益は、医薬品事業が306億3,800万円(同6.5%増)、機能食品事業が13億9,300万円(同142.7%増)となった。

医薬品事業における主力製品の売上収益では、「ビダーザ」(骨髄異形成症候群治療剤・急性骨髄性白血病治療剤)が前年比34.9%減、「トラマール」・「ワントラム」(がん疼痛・慢性疼痛治療

剤)が26.7%減となった一方、「ビルテプソ」が22.2%増、「ウプトラビ」が22.5%増となるなど好調に推移。「ビルテプソ」については、日本が6.5%増、米国が28.6%増となった。

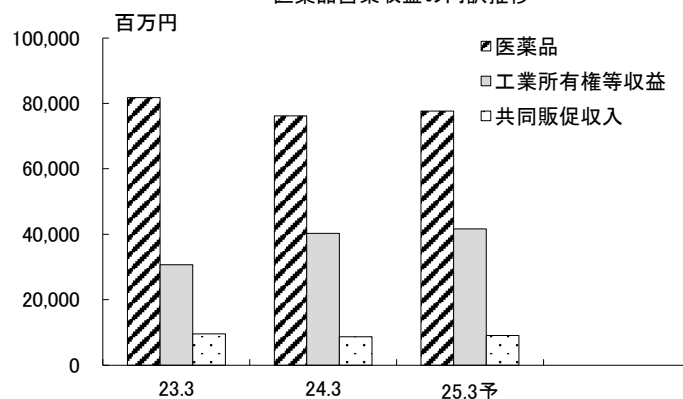
キャッシュ・フロー(以下、CF)の状況については、当期末現在の現金及び現金同等物の残高は580億9,400万円(23年3月期末比3.3%減)となった。営業活動によるCFは、税引前利益336億1,600万円(23年3月期比10.3%増)、減価償却費及び償却費50億2,300万円(同0.4%減)、営業債権及びその他の債権の増加額22億2,500万円(同56.1%増)、棚卸資産の増加額25億8,000万円(23年3月期は減少額17億8,200万円)、法人所得税の支払額117億4,400万円(23年3月期比63.8%増)などにより、162億8,900万円の収入(同37.8%減)となった。投資活動によるCFは、有形固定資産の取得による支出50億5,800万円(同10.6%減)、無形資産の取得による支出45億9,100万円(同24.3%減)、投資の取得、売却及び償還による差引支出額1億2,000万円(同98.0%減)などにより、99億2,100万円の支出(同43.7%減)となった。財務活動によるCFは、リース負債の返済による支出17億600万円(同4.9%減)、配当金の支払額80億1,100万円(同2.6%増)などにより、97億1,900万円の支出(同1.2%増)となった。

**25年3月期の業績見通し**…25年3月期の業績については、売上収益1,500億円(前期比1.2%増)、営業利益310億円(同6.9%減)、税引前利益315億円(同6.3%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益245億円(同5.2%減)の見通しで、1株当たりの年間配当金は124円の予定。

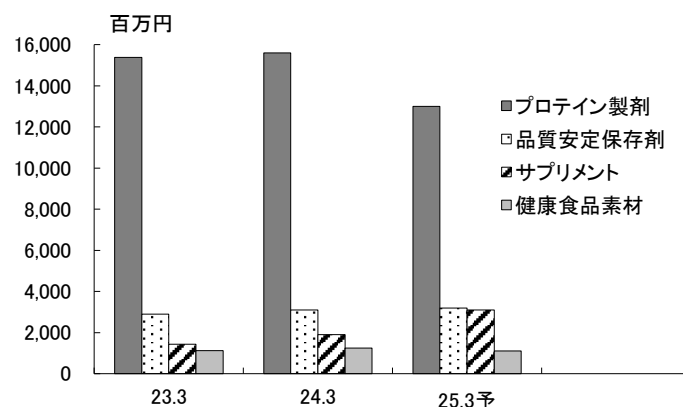
事業別の売上収益予想は、医薬品事業1,285億円(同2.7%増)、機能食品事業215億円(同7.1%減)。医薬品事業の内訳は、医薬品777億円(同2.0%増)、工業所有権等収益417億円(同3.5%増)、共同販促収入91億円(同5.1%増)で、機能食品事業の内訳は、プロテイン製剤130億円(同16.7%減)、品質安定保存剤32億円(同3.0%増)、サプリメント31億円(同62.7%増)、健康食品素材11億円(同11.9%減)などとなっている。

医薬品事業においては、薬価改定や後発品の影響はあるものの、医薬品の「ビルテプソ」「ウプトラビ」などの伸長に加え、工業所有権等収益で「ウプトラビ」の海外売上に伴うロイヤリティ収入の伸びなどにより、増収の見通し。機能食品事業については、新製品開発・投入への一層の注力、重点品目への取り組み強化の一方、一部製品の販売価格低下の影響などで減収の見通し。

医薬品営業収益の内訳推移



機能食品営業収益の主な内訳推移



本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。